

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 31 日 (2016.3.31)

【公開番号】特開 2014-237406 (P2014-237406A)

【公開日】平成 26 年 12 月 18 日 (2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報 2014-070

【出願番号】特願 2013-121681 (P2013-121681)

【国際特許分類】

B 6 2 D 25/04 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 25/04 B

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 9 日 (2016.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

上記構成のように、リアドアストライカリンフォース 1 3 0 とリアシートストライカリンフォース 1 4 0 とを近接させ、それらに前フランジ 1 3 2 a およびフランジ 1 4 4 を設けることで、クォータインナパネル 1 2 0 との 3 枚打ちでの接合が可能となる。これにより、リアドアストライカ 1 3 0 a からの荷重がリアドアストライカリンフォース 1 3 0 を介してリアシートストライカリンフォース 1 4 0 にも伝わり、荷重を分散することができ、リアシートストライカ 1 4 0 a からの荷重がリアシートストライカリンフォース 1 4 0 を介してリアドアストライカリンフォース 1 3 0 にも伝わるため、荷重を分散することができる。また、接合箇所を減らすことができるため、接合作業を軽減し、作業工程の簡略化を図ることができる。またリアドアストライカリンフォース 1 3 0 とリアシートストライカリンフォース 1 4 0 とが近接していることで、リアピラー 1 0 0 の構造を簡素化することも可能となる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

なお、本実施形態では、リアドアストライカリンフォース 1 3 0 の前フランジ 1 3 2 a とリアシートストライカリンフォース 1 4 0 のフランジ 1 4 4 とにおいてクォータインナパネル 1 2 0 との 3 枚打ちを行う構成を例示したが、これに限定するものではない。例えば、リアシートストライカリンフォース 1 4 0 の膨出形状 1 4 2 の上部や下部にフランジを設け、このフランジと、リアドアストライカリンフォース 1 3 0 の上フランジ 1 3 4 a や下フランジ 1 3 6 a と、クォータインナパネル 1 2 0 とを 3 枚打ちする構成としてもよい。またリアドアストライカリンフォース 1 3 0 においても、本実施形態のように基本面 1 3 2、上面 1 3 4 および下面 1 3 6 のすべてにフランジを設ける必要はなく、リアドアストライカリンフォース 1 3 0 と、リアシートストライカリンフォース 1 4 0 と、クォータインナパネル 1 2 0 との 3 枚打ちに要する箇所のみにフランジを設ける構成とすることも可能である。